

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年4月3日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年4月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【当社ホームページ上の放射線測定データ公表誤りについて】 2020年3月16日に当社ホームページ上で公開した「作業月報 1F免震重要棟等の放射線管理業務」において、4箇所のデータに誤りがあることを確認。 調査の結果、委託先にて測定結果を月報作成用エクセルに入力する際、1箇所誤入力したものの、その数値を用い3箇所のデータが自動換算され、合計4箇所に誤りが発生したと判明。 今後、原因の究明および再発防止対策の検討を行う。</p>	G II	4月1日
2	<p>【半面マスクの右側フィルター紛失について】 協力企業作業員が、汚染車両を移動させるために使用するクレーンの移動立会い作業後、登録センター(休憩所)に入域した際、サーベイ員より半面マスク右側フィルターがないことを指摘され紛失を確認。 右側フィルター検索の結果、登録センター東側道路で発見。 作業現場および移動経路のダストを測定し、異常なしを確認。 作業員の放射性物質内部取り込みを確認するためホールボディカウンターを実施し、異常なしを確認。 立会い作業中は他作業員によりフィルターが装着されていたことは確認されているため、作業終了後、右側フィルターが落ちたと推定。 今後、原因調査および対策を検討。</p>	G III	3月31日
3	<p>【5号機 換気空調系常用空気冷却器の冷水ポンプ(C)軸固着について】 点検終了に伴い、5号機 換気空調系常用空気冷却器の冷水ポンプ(C)の水張をしたところ、ハンドターニング※が実施できないため、軸固着と判断。 冷水ポンプは3台のうち他の1台が運転、1台が予備機となっているため、運用に問題なし。 今後、分解点検予定。</p> <p>※ ハンドターニング：人手で調整すること</p>	G III	4月1日